

会務報告

令和4年度大阪府高等学校生物教育研究会の運営について

事務局 岡本 元達 (大阪教育大学附属高等学校池田校舎)

1. 会務報告について

令和4年度研究会事務局は、府立事務局を加藤励(府立泉陽高校)、本部事務局を岡本元達(大阪教育大学附属高等学校池田校舎)に置く形で行いました。事務局会計は小瀧允(府立大冠高校)が運営しました。会費納入制度が個人会員制に変更されて以来、財政的に苦しい状況が続いています。研究会協力会からの寄付と近畿大学から生徒研究発表会に協賛・広告をいただき、助かっております。

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響はありますが規制が緩和され始め湾岸生物観察会と森林生態観察会を実施することができました。次年度の大阪大会に備え現地研修の予行や研究協議に向けた勉強会を実施し例年になく行事の多い一年となりました。また、大阪大会で本研究会のこれまでの取り組みを発表するため、5年に一度の指標生物調査を1年前倒しにして実施しました。今回の調査では高校生だけでなく小学生にも協力してもらいました。ご協力いただいた高等学校・小学校の先生方、ありがとうございました。

日本生物教育会全国大会の北海道大会は新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが対面で実施されました。大阪からは視察を兼ねて多くの先生方に参加していただきました。

さて、研究会の事業ですが、「研究者に学び成果を授業に活用する教員研修事業」と題し1名の大学研究者にご講演、1名の大学研究者に研究協議の指導助言、3名の大学研究者に実験研修を行っていただき教員の専門性の向上及び教員と研究者の結びつきを強める機会を設けました。本事業の実施にあたり「大阪コミュニティ財団」から助成金を頂いております。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

また、外部の団体との連携事業・行事を実施してきました。大阪市立自然史博物館や近畿大学からご協力いただき、生徒生物研究発表会をオンライン併用にて実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響の中、多くの先生方、関係していただいた方々のおかげです。昨年度はオンラインで実施した「青少年のための科学の祭典」は対面で実施することができました。

次年度はいよいよ大阪大会の年となります。先輩方のお力添えをいただきながら大阪の生物教育を全国に発信してまいります。

2. 研究会の役員組織と業務運営について

令和2年度まで、本研究会会長は高等学校の校長先生に依頼しておりましたが、近年の研究会と関係の深い管理職不足の問題から、高等学校の校長から小学校で再任用校長をされている柴原先生に引き続き会長をお願いすることとなりました。今後の本研究会会長のあり方について検討が必要になってきます。

令和4年度の委員は、委員会における推薦及び、自薦による立候補者から準備委員会において委員候補者を選定し、総会に於いて承認されました。